

商品が活着ているようにしゃべる ロボットディスプレイ「ものトーク」 SKY CIRCUS サンシャイン 60 展望台に採用

シードルインタラクシオンデザイン株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役 渡邊恵太）は、商品が活着ているようにしゃべって見せられるロボット型ディスプレイ「ものトーク」を開発し、4月21日より開業する「体感する展望台」SKY CIRCUS サンシャイン 60 展望台に採用されました。



「SKY CIRCUS SHOP にてもものトークに載せた商品が商品自身でPR する様子」

2020年東京オリンピックを見据え、IoT やロボット技術を用いた観光や集客技術が注目されています。ものトークは、生活や店舗に溶け込むディスプレイデザインと、人間らしさを表現可能にするロボット技術により、商品をディスプレイに載せるだけで、まるで商品がしゃべっているかのように動き、商品を商品自体でPR します。液晶ディスプレイと違い商品自体を利用するため、**広告CM 感を消しつつも人の目を引きやすく、説得力の高いプロモーションや店舗演出を実現できます。**

シードルインタラクシオンデザイン株式会社について

シードルインタラクシオンデザインは JST ERATO 事業をきっかけとした明治大学、慶應義塾大学、東京大学の、教員／研究員／学生による大学発ベンチャーです。現在は文科省 COI プロジェクトの社会実装を手がけながら、インターネット前提時代の人々の生活や社会に溶け込むプロダクト、ロボティクス、インタフェースデザイン、インタラクシオンデザイン技術開発をしております。

本件に関するお問い合わせ

シードルインタラクシオンデザイン株式会社

担当者：鈴木

e-mail: info@cidre.tokyo

会社： <http://cidre.tokyo>

ものトーク紹介：<http://cidre.tokyo/monotalk/>

